

平成26年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	コミュニティ創生の推進	個別事業 掲載No	生 — 1
-----	-------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 地域の関係性の希薄化などの多様な課題について、住民同士の支え合いによる新たな「共助」と協働により、地域で解決していく「コミュニティ創生」の取り組みを推進する。また、プロジェクト・チーム構成セクション間の実践的連携、主要事業に協働する市民間の多層・多層的なネットワークの形成を進める。 各住民協議会で取り込まれる「住民協議会の在り方検討委員会」としなやかに連携し、協働によるコミュニティ創生に取り組む。</p> <p>【事業量】 ・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム会議の開催（6回）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>○プロジェクト・チームの再編</p> <p>プロジェクト・チーム会議の開催</p> <p>○報告書の作成</p> <p>・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>平成26年度上半期は、コミュニティ創生検討プロジェクト・チームを再編するとともに、7月2日に第1回目のプロジェクト・チーム会議を開催し、平成25年度プロジェクト活動の振り返りと平成26年度検討テーマについて協議を行った。</p> <p>また、8月8日には、第2回目のプロジェクト・チーム会議を開催し、三鷹市高齢者の生活と福祉実態調査の結果についてメンバー間で情報共有を図るとともに、引き続き検討テーマについて協議し、地域の担い手の人財育成問題等の課題を話し合った。</p> <p>今後も月1回程度プロジェクト・チーム会議を開催し、地域の絆づくりや地域の活性化の実現に必要な具体的方策について検討していく。</p>											
	事業評価審査会特記意見	これまでの調査・研究成果を踏まえ、地域活動の充実、連携が図られるよう具体的な取り組みを進める必要がある。	政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。 多世代交流を軸にコミュニティ活動が活性化するように、住民協議会を中心に地域特性に応じて可能な取り組みから順次実施できるよう支援すること。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム会議（全7回） ・コミュニティ創生検討プロジェクト・ワーキング・チーム会議（全1回） ・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成</p>													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	事業の成果（実績）	<p>○プロジェクト・チーム再編</p> <p>○ワーキング・チーム編成</p> <p>※プロジェクト・チーム会議開催（全7回）</p> <p>○報告書の作成</p> <p>・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成 ・住民協議会活性化事業の支援</p>													
	事業の総括（主管課）	<p>プロジェクト・チーム会議において、地域の担い手に係る人財育成、人財発掘、他団体との連携等について検討を行うとともに、新たにワーキング・チームを編成し、地域の担い手に係る人財育成等について関係各課に現状等を確認し、担い手の高齢化・固定化などの課題について整理を行い、報告書にまとめた。</p> <p>なお、昨年度に引き続き、三鷹市井の頭地区住民協議会が実施する「多世代交流事業」に助成金を交付し、住民協議会活性化事業の支援を行った。「多世代交流事業」では、生き物の観察会や子どもの居場所作り等を実施し、子どもから高齢者まで来館者数が増加した。</p> <p>今後も引き続き、地域のさまざまな団体と連携しながらコミュニティ創生を推進していく。</p>													
	事業評価審査会評価・意見等	最重点プロジェクトの一つとして、今後、具体的な取り組みを進めることが望ましい。	予算執行	25年度実績				26年度当初		26年度実績					
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	予算額	781千円	690千円	690千円	決算額	406千円		367千円	執行率（%）	52.0%		53.2%
				1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）											

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	ものづくり産業等の集積・強化及び都市型産業誘致の推進	個別事業 掲載No	生 — 2
-----	----------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 東京都の「創造的都市型産業集積促進助成事業」及び「ものづくり産業集積強化支援事業」の補助金を活用する。SOHO事業者に対する支援として、インキュベーション・マネージャーの育成、コワーキング、シェアオフィスを含めた施設整備に対する補助、ミタカフェの運営など引き続き一体的に支援を行う。ものづくり産業に対する支援としては、市内事業者の移転に係る費用の補助、周辺環境と調和を図るための工事に係る補助、産業プラザ地下1階の精密測定機械室の機器更新などを行う。日本無線三鷹製作所の跡地における市内事業者の操業支援に向けて企画部と連携して取り組みを進める。「三鷹市都市型産業誘致条例」のPR・周知活動により、市内への優良企業の誘致を推進する。また、金融機関や不動産事業者などとのネットワークを強化し、市内の土地情報や空き事務所情報等の共有を進める。</p> <p>【事業量】 ・ミタカフェ運営 ・工場移転集約化促進事業補助金要綱、都内ものづくり企業立地継続支援事業補助金要綱の制定</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>○工場移転集約化促進事業補助金要綱制定 ○都内ものづくり企業立地継続支援事業補助金要綱制定 ○精密測定機械室機器の更新→</p>											
事業の成果(目標)	<p>・SOHO施設整備補助金利用 3施設 ・工場移転集約化促進事業補助金利用 3社 ・都内ものづくり企業立地継続支援事業補助金利用 4社 ・指定企業・指定誘致協働事業者 各2社</p>												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>ものづくり産業集積推進事業については、都の新事業である都内ものづくり企業立地継続支援事業との調整を図っていたため、要綱制定が遅れた。東京都との調整がほぼ済んだため、早急に要綱制定を行い、事業を実施する。 SOHO集積強化推進事業については施設整備事業の利用者がいないため、今後PRを推進していく。</p>										
	事業評価審査会特記意見	<p>精密測定機械室の機器の拡充にあたっては、投資効果を見据え検討する必要がある。</p>				<p>政策会議 評価・意見等</p>		<p>重点的に取り組む課題とする。 SOHO支援事業について、これまでの取り組みを検証・総括し、それらを踏まえて三鷹の特性を活かした効果的かつ的確な事業実施を図ること。</p>				
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする						

事後評価	実績	<p>・ミタカフェ運営 ・精密測定機械室機器の更新 ・ものづくり産業集積促進事業助成金交付要綱、ものづくり企業立地継続支援事業補助金交付要綱の制定 ・指定企業、指定誘致協働事業者の指定</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>○ものづくり産業集積促進事業助成金交付要綱制定 ○ものづくり企業立地継続助成金交付要綱制定 ○精密測定機械室機器の更新</p>											
	事業の成果(実績)	<p>・SOHO施設整備補助金利用 0施設 ・工場移転集約化促進事業補助金利用 0社 ・ものづくり企業立地継続支援事業補助金利用 1社 ・指定企業 2社 ・指定誘致協働事業者 1社</p>											
	事業の総括(主管課)	<p>ものづくり産業集積推進事業については、都の新事業である都内ものづくり企業立地継続支援事業との調整を図っていたため、要綱制定が遅れていたが、要綱制定も完了し、ものづくり企業立地継続助成金については1社が利用することとなった。ものづくり産業集積促進事業助成金の利用はなかったが、次年度に向けて商工会の工業部会等へ周知し、PRを推進していく。 都市型産業誘致促進事業については新たに2社を指定した。また指定誘致協働事業者として1社を指定した。 SOHO集積強化推進事業については施設整備事業の利用者はいなかった。 ミタカフェ運営については、順調に運営し、昨年度より利用者が増加した。また、産業プラザ地下1階の精密測定機械室機器を更新し、利用者の利便性向上を図った。</p>											
事業評価審査会評価・意見等	ものづくり産業集積促進事業補助金については、積極的な周知は評価するところであるが、平成28年度の期限を見据えて、企業の利用があるよう、今後も積極的にPR等を行うこと。				予算執行	25年度実績		26年度当初		26年度実績			
						予算額		70,333千円		70,333千円			
						決算額		14,991千円		21,564千円			
						執行率(%)		96.9%		30.7%			
主管課評価	2	事業評価審査会評価		3	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)								

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	農業公園の機能拡充による農のあるまちづくりの推進	個別事業 掲載No	生 — 3
-----	--------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 市民が農業について学び、体験し、交流できる総合的な拠点として、平成16年4月1日に開園した農業公園が10周年を迎えるにあたり、記念事業を実施するとともに、東京都の補助金を活用して実習農園の整備を行うなど、昨年度に引き続き、農業公園運営懇談会の検討を踏まえて、農業公園機能の拡充に取り組む。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業公園運営懇談会の実施 記念事業の実施 実習農園の整備拡充（2か所） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>○運営懇談会 ○運営懇談会 ○運営懇談会 ○運営懇談会 ○運営懇談会</p> <p>○7月5日 記念事業</p> <p>← 整備工事 →</p> <p>・記念事業を7月5日に実施 ・農業公園機能の拡充</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>記念事業の開催、整備工事の実施に向けて、運営懇談会を3回開催し内容の検討を行った。また、記念事業については、臨時に設けた記念事業検討部会を3回開催し詳細な検討を行い、7月5日に計画どおり開催することができた。 実習農園の拡充等に向けた整備工事については、9月以降の工事の実施に向けて、起工書の作成など、準備中である。</p>										
	事業評価審査会特記意見	<p>政策的に取り組む課題とする。 市民農園と老人レジャー農園の管理の統合、外環道の蓋かけ上部の活用や、援農ボランティアの支援、農業生産法人の設立支援など、都市特有の農業を取り巻く課題を踏まえつつ、農業公園のあり方を含めて三鷹らしい農業振興のあり方について体系的に検討を進めること。</p>										
	政策会議 評価・意見等	<p>重点的に取り組む課題とする。 市民農園と老人レジャー農園の管理の統合、外環道の蓋かけ上部の活用や、援農ボランティアの支援、農業生産法人の設立支援など、都市特有の農業を取り巻く課題を踏まえつつ、農業公園のあり方を含めて三鷹らしい農業振興のあり方について体系的に検討を進めること。</p>										
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 運営懇談会の開催（4回） 記念事業の開催（7月5日） 実習農園の整備拡充（2か所） 記念事業検討部会の開催（3回） 農業公園パンフレットの作成（10,000部） 																									
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
	事業の成果（実績）	<p>○7月5日開催</p> <p>○運営懇談会 ○運営懇談会 ○運営懇談会</p> <p>○検討部会 ○検討部会 ○検討部会</p> <p>○運営 整備工事 懇談会</p> <p>← 〃 →</p> <p>・記念事業の開催（参加者 約1,000人） ・農業公園機能の拡充（実習農園の整備2か所）</p>																									
	事業の総括（主管課）	<p>農業公園運営懇談会の開催については、記念事業検討部会の開催も含め、記念事業の開催、整備工事の実施等に向けて十分な検討を行うことができた。7月5日に開催した記念事業については、約1,000人の市民が参加し、農業や緑を通じた交流を深めることができた。 実習農園の整備拡充については、運営懇談会での意見等を十分に盛り込むことにより当初工事実施時期よりも遅れたが、26年度中に工事が完了し、新たに果樹や野菜などを混植した実用と草花鑑賞の両目的を兼ね備えたポタジェ（家庭菜園）での利用実施をするなど、農業公園機能の拡充に取り組むことができた。</p>																									
	事業評価審査会 評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算執行</td> <td>25年度実績</td> <td>26年度当初</td> <td>26年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>15,053千円</td> <td>17,792千円</td> <td>17,792千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>15,008千円</td> <td></td> <td>17,777千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>99.7%</td> <td></td> <td>99.9%</td> </tr> </table>											予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績	予算額	15,053千円	17,792千円	17,792千円	決算額	15,008千円		17,777千円	執行率（%）	99.7%	
予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績																								
	予算額	15,053千円	17,792千円	17,792千円																							
	決算額	15,008千円		17,777千円																							
執行率（%）	99.7%		99.9%																								
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）																							

平成26年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	エコタウン開発奨励制度の推進	個別事業掲載No	生 — 4
-----	----------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 三鷹市まちづくり条例の対象となる3,000㎡以上の大規模開発事業者に対し、対象の「創・蓄・省エネルギー」機器を全戸に導入する戸建住宅の開発事業を奨励する制度。導入する機器ごとにポイント（1ポイント＝1万円）を設定し、奨励金額を算出する。また、導入する機器数によりゴールド、シルバー、ブロンズのランク別のエコタウン認定を行う。 エコタウン認定について、広告等によるPRを可能とする一方、奨励金額は住宅価格に反映させる義務あり。環境基金を活用して実施する。平成25・26年度のサンセット事業。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者に向けた積極的な情報提供 ・事業継続についての検討 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	<p>○事業募集・認定・交付</p> <p>○事業継続について検討</p> <p>・エコタウン認定 2件 ・環境配慮型住宅の面的拡大</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>平成25年度認定した2事業については、順調に進められている。平成26年度も2件の認定を目指し開発業者に情報提供しているが、上半期における認定申請条件に該当する開発事業は、0件である。今後は、協議中の1件の認定に向け交渉をしていく。事業者の反応として、今年度で終了する事業の利用は、難しいといった声もあった。 当該事業の成果の検証として、入居者へのアンケート調査等は、入居後一定の期間が必要であることから、今年度は、認定事業者へのアンケート調査等を行い、事業継続について検討を進める。</p>											
	事業評価審査会特記意見	事業効果を踏まえ、サステナブル都市の実現に向けた事業のあり方を検討することが望ましい。	政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。 26年度までの事業実績を踏まえ、27年度からの2年間の新たなサンセット事業として、より効果が上がるよう事業手法を見直すこと。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度の認定事業者1件（中原1丁目プロジェクト）に対し戸別プレートの授与 ・認定条件に該当する開発事業がなかったため、今年度の認定申請はなし ・認定事業者アンケートを実施し、事業継続に向けた検討の実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(実績)	<p>・平成26年度認定申請0件（認定条件に該当する開発事業なし）</p> <p>・2件の認定事業者に対しアンケート調査を実施</p> <p>・事業者アンケート調査の結果に基づき、現行制度を見直し、平成27年度から2年間の新たなサンセット事業を検討</p>											
	事業の総括(主管課)	<p>平成25年度に認定した2件については、順調に進捗し、「創・蓄・省エネルギー」機器を設置した環境配慮型の住宅群が形成された。 平成26年度は、認定条件に該当する開発事業がなかったためエコタウン認定の実施がなかったが、平成25年度までのエコタウン認定により、環境配慮型住宅群が形成され、点在する個々の設備導入から開発地域全体の面への広がりが行われた。また、エネルギーの有効利用と温室効果ガスの削減、周辺への啓発、環境意識が高い消費者の誘導及び経済の活性化等、複数の視点での効果が得られた。 市と事業者との協働のによるまちづくりができ、環境負荷の少ないサステナブル都市の実現をめざす三鷹市の姿勢をPRすることができた。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	申請対象事業がなかったことを踏まえ、次年度においては、より利便性が高まるような制度への転換を検討するとともに、消費者へも積極的にPRすること。	予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績							
主管課評価	2	事業評価審査会評価	3	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹台団地周辺子育て支援施設等整備事業の推進（三鷹台地区公会堂の整備及び牟礼地区公会堂の設計）	個別事業掲載No	生 — 5
------------	---	-----------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要・事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 井の頭・玉川上水周辺地区の施設整備（三鷹台地区公会堂、五小児童保育所、障がい児通所サービス施設）を行う。 旧三鷹台保育園及び三鷹台地区公会堂解体工事費：6,522,000円 井の頭・玉川上水周辺地区複合施設（仮称）新築工事費：44,379,250円 井の頭・玉川上水周辺地区複合施設（仮称）工事監理費：1,951,000円 牟礼・三鷹台団地周辺地区の施設整備（牟礼地区公会堂、三鷹台保育園と高山保育園の統合園、災害対策用備蓄倉庫）を行う。 牟礼・三鷹台団地周辺地区複合施設（仮称）設計委託費：6,210,000円 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p style="text-align: center;">((新)三鷹台地区公会堂の整備)</p> <p style="text-align: center;">← 契約 → ← 工期 →</p> <p style="text-align: center;">((新)牟礼地区公会堂の設計)</p> <p style="text-align: center;">← 契約 → ← 設計 →</p>											
事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> (新)三鷹台地区公会堂、平成26年度内に新築工事の完了 (新)牟礼地区公会堂、平成26年度内に設計業務の完了 												

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> (新)三鷹台地区公会堂の整備については、旧施設の解体工事が終わり、新築工事を開始した。また、新施設関係者（地区公会堂指定管理者、五小児童職員及び保護者、なかよし教室職員）を集めての連絡会議を実施した。 (新)牟礼地区公会堂の設計については、設計業者が決定し、地区公会堂の機能の説明、既存施設の視察などを実施した。 											
	事業評価審査会特記意見		政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> (新)三鷹台地区公会堂について、平成27年3月16日竣工検査合格をもって、新築工事が完了 (新)牟礼地区公会堂について、設計業務が完了 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p style="text-align: center;">((新)三鷹台地区公会堂の整備)</p> <p style="text-align: center;">← 契約 → ← 工期 →</p> <p style="text-align: center;">((新)牟礼地区公会堂設計)</p> <p style="text-align: center;">← 契約 → ← 設計 →</p>											
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> (新)三鷹台地区公会堂について、工事は予定どおり進み、新築工事が完了した。また、関係部署で連携を図り、開所式及び内覧会を開催した。なお、平成27年4月1日からの利用開始に向け、備品の購入、三鷹市地区公会堂条例施行規則の改正も行った。 (新)牟礼地区公会堂について、設計業務が完了した。また、地域住民向けに平成27年度から開始する解体工事の説明会を実施した。 											
	事業の総括（主管課）	<ul style="list-style-type: none"> (新)三鷹台地区公会堂について、旧施設は2階部分に位置し、また、和室のみであったので、足腰の不自由な方や高齢者の方から使いづらいとの声もあったが、新施設では、バリアフリーの設計となっており、地元町会をはじめとした多くの地域住民から期待の声をいただいた。また、利用開始に先立ち、三鷹台地区公会堂の予約専用電話を設置したことも、利便性の向上により、今後の利用者増加が期待できる。 (新)牟礼地区公会堂について、近隣町会や三鷹市東部地区住民協議会等の地域住民との協議を重ね、新施設の設計に意見反映を行った。地域住民の意見等を設計に反映するため、設計時期に十分時間をとることができるよう、契約時期を少し早めた。今後も、地域住民への情報交換や意見交換を丁寧に行いながら、平成28年3月の完成をめざす。 											
	事業評価審査会評価・意見等		予算執行		25年度実績	26年度当初	26年度実績						
				予算額	3,128千円	61,835千円	61,835千円						
				決算額	2,504千円		58,745千円						
				執行率(%)	80.1%		95.0%						
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	コミュニティ・センターの空調設備改修及び耐震補強の実施	個別事業 掲載No	生 — 6
-----	-----------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要・実施量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三鷹駅前コミュニティ・センターの空調設備の改修を行う。 工事監理費：8,225,280円 工事請負費：260,427,528円 牟礼コミュニティ・センター本館の耐震補強工事及びプールサイド、プール更衣室の改修を行う。 工事監理費：3,333,960円 工事請負費：43,726,068円 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	<p>三鷹駅前コミュニティ・センター空調設備改修工事の年度内の工事完了 牟礼コミュニティ・センター本館耐震補強等工事の11月までの工事完了</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹駅前コミュニティ・センターの空調設備改修工事 当初の予定どおりに地下階の既存機器類の撤去及び新設機器類の設置等工事が進捗している。また、週一回工事管理業者及び工事請負業者等と工事打ち合わせを実施し、施工内容の確認も行っている。 牟礼コミュニティ・センター本館耐震補強等工事 当初予定どおりに工事が進捗し、11月に竣工する。 											
	事業評価審査会 特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>											
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹駅前コミュニティ・センターの空調設備改修の工事が完了した。 牟礼コミュニティ・センターの本館耐震補強等工事が完了した。 																									
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
	事業の成果(実績)	<p>三鷹駅前コミュニティ・センターの空調設備改修工事完了 牟礼コミュニティ・センターの本館の耐震補強等工事完了</p>																									
	事業の総括(主管課)	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹駅前コミュニティ・センター空調設備改修工事 センター内の空調設備を更新したことによって、良好な空調環境の維持及び管理ができるようになった。また、利用者に不便が生じることのないよう、フロア毎に工期をずらすことにより、全面休館することなく改修工事を実施した。良好な空調環境により、利用者の利便性向上を図ることができた。 牟礼コミュニティ・センター本館耐震補強等工事 平成25年度の体育館耐震補強工事に引き続き、予定どおり工事が完了した。利用者の利便性を優先するため、休館することなく工事を実施した。今後も地域の防災拠点として災害に備える。 																									
	事業評価審査会 評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">予算執行</td> <td>25年度実績</td> <td>26年度当初</td> <td>26年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>315,715千円</td> <td>315,715千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>262,224千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>89.1%</td> <td></td> <td>83.1%</td> </tr> </table>												予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績	予算額	315,715千円	315,715千円	決算額		262,224千円	執行率(%)	89.1%		83.1%
	予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績																							
予算額		315,715千円	315,715千円																								
決算額			262,224千円																								
執行率(%)	89.1%		83.1%																								
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)																							

平成26年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	「サステナブル都市三鷹」の実現に向けた事業の検討	個別事業 掲載No	生 — 7
-----	--------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成25年度に提案された継続検討事業の実現に向けて更なる検討を進める。また、新たなサステナブル政策事業を検討し、提案する。 各部等で自主的にサステナブル政策事業を検討・推進する仕組みについても検討を進める。 これらの検討内容を報告書にまとめる。</p> <p>【事業量】 ・サステナブル都市政策検討チーム（プロジェクト(P)チーム・ワーキング(W)チーム）検討会の開催（6回） （先進都市視察・講演会開催）（継続検討事業の事業化に向けた検討） （新たなサステナブル政策事業の検討）（サステナブル政策事業を検討・推進する仕組みの提案）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>○検討・講演会・視察 → ○検討（継続） → ○中間報告（提案） → ○政策会議 → 報告○</p> <p>・サステナブル政策事業の事業化に向けた検討 ・サステナブル都市政策検討チームの報告書の作成</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>平成25年度からの継続検討2事業「まちなかグリーンベルト創出事業」「地域経済循環システム構築事業」は、所管課長を中心としたWTで、事業化に向けた検討を進めている。また、新たに提案された2事業「スマートコミュニティ推進のためのサイクルシェア事業」「グローバル観光化推進事業」についても、各WTにおいて検討を進めている。 下半期は、講演会の開催や視察を実施し、継続検討2事業については、事業化に向けた提案を行う。新規2事業についてもサステナブル政策事業として検討を行う。全庁的に広げるサステナブル政策事業を検討・推進する仕組みづくりについては、今年度に限らずサステナブル都市政策検討チームを継続的に運用していく中で、確立していく。</p>											
	事業評価審査会 特記意見	<p>政策的に評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。</p>											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>・Pチーム会議開催（1回） ・全体会議の開催（1回） ・検討事業ごとにWチームを設置し、各事業の主管課長を中心に検討を進めた。 ・継続2事業：「まちなかグリーンベルト創出事業」WT会議（8回）、「地域経済循環システム構築事業」WT会議（5回） ・新規2事業：「スマートコミュニティ推進のためのサイクルシェア事業」WT会議（8回）、「グローバル観光化推進事業」WT会議（4回） ・その他事業：「再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューディール基金）事業の検討」 ・第3次報告書の提出</p>																							
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
	事業の成果（実績）	<p>サステナブル政策事業の提案 ・「まちなかグリーンベルト創出事業」：平成27年度事業化 ・「地域経済循環システム構築事業」：平成28年度以降事業化 ・「スマートコミュニティ推進のためのサイクルシェア事業」：平成28年度以降事業化 ・「グローバル観光化推進事業」：平成27年度以降継続検討 ・「再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューディール基金）事業」：平成27・28年度実施 ・「電気コミュニティバスの導入」：情報収集 ・平成27年3月報告書作成</p>																							
	事業の総括（主管課）	<p>サステナブル都市政策検討チーム（以下「検討チーム」という）を再編し、Wチームのチームリーダーに主管課長を置くことによって、事業化に向けた検討をスムーズに進めることができた。その結果、事業化の提案を含めた報告書を3月にまとめた。</p>																							
	事業評価審査会 評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td>25年度実績</td> <td>26年度当初</td> <td>26年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>98千円</td> <td>98千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>50.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>												予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績	予算額	98千円	98千円	決算額		0千円	執行率(%)	50.0%
予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績																						
	予算額	98千円	98千円																						
	決算額		0千円																						
	執行率(%)	50.0%	0.0%																						
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）																					

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	買物環境の整備	個別事業 掲載No	生 — 8
-----	---------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 引き続き買物支援モデル事業を実施する。実施にあたっては市や関係団体で組織した買物支援事業本部の支援の下、公募等によって選定された協議会（商店会単位）が各地域の特性にあわせて検討した事業実施を推進する。また、平成25年度、新川・中原地区で作成した宅配事業を行う店舗リストについて、他の地区への拡充を図る。なお経費については、一般財源に加えて、東京都の「緊急雇用創出事業臨時特例補助金」を活用する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 買物支援事業本部会議の開催 買物支援モデル地区の追加募集 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	○買物支援事業本部会議の開催 ○買物支援モデル地区の追加募集						○買物支援事業本部会議の開催					
事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 買物環境の整備を通じて、地域商店会の活性化と消費者の利便性の向上 買物応援キャラバン隊の拡充、モデル地区の増加 												

中間評価	上半期の実績・課題等	平成26年度は新たに1商店会が加わり、12商店会（11協議会）でモデル地区で事業を実施することとなった。なお、7月3日には第1回の買物支援事業本部を開催し、今後の活動の方向性について協議を行った。また、7月には買物支援事業本部として品川区中延商店街を視察し、今後の取り組みの参考となる事例を研究することができた。											
	事業評価審査会特記意見		政策会議 評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 買物支援事業本部の開催（2回） 買物支援モデル地区の追加（2地区） 買物応援キャラバン隊出張市の実施 												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果（実績）	○買物支援事業本部会議の開催 ○買物支援モデル地区の追加募集						○買物支援事業本部会議の開催						
	事業の総括（主管課）	<p>買物支援モデル地区については大沢下原商店会と山中商栄会の2地区が新たに加わり、13商店会（12協議会）での実施となった。新たに加わった2地区では宅配等のサービスを集約した冊子を作成し、周辺住民への配布を行い、商店会の認知度アップと消費者の利便性向上に寄与することができた。また、山中商栄会では、市内で初めて大型店舗と連携し、利用者の拡大等利便性の向上を図った。次年度以降も引き続きモデル地区の増加に努めるとともに、地区特性に応じた買物環境の整備を推進していく。</p>												
	事業評価審査会評価・意見等		予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績								
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	予算額	8,797千円	11,000千円	11,000千円							
				決算額	8,797千円		11,000千円							
				執行率（%）	100.0%		100.0%							
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）										

平成26年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	環境センター跡地の利活用の研究	個別事業 掲載No	生 — 9
-----	-----------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 環境センターの跡地利用について、循環型社会の推進に向けた施設等の整備を含めた跡地利用の課題等の抽出など調査・研究を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境センター跡地の利活用の課題の抽出 循環型社会の推進に向けた調査・研究 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業の成果 (目標)	環境センター跡地利活用の課題の抽出												

中間評価	上半期の実績・課題等	環境センターの解体、跡地利用について、方向性や課題に関する検討事項の洗い出しを行った。平成26年度後期は洗い出し項目について、精査するとともに優先度を決定し、具体的なスケジュールとその内容について検討を行う。														
	事業評価 審査会 特記意見							政策会議 評価・意見等	基本的には提案通り実施する。 適切な財源確保を前提に、関係部署と連携し都市再生の観点から、跡地活用の方向性について検討すること。							
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする										

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 環境センター跡地の利活用の課題の抽出及び利活用に向けたスケジュールの作成 循環型社会の推進に向けた調査・検討 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果 (実績)	環境センター跡地利活用の課題の抽出											
	事業の総括 (主管課)	平成26年度は環境センター施設解体後の跡地の利活用について、課題に関する検討事項の洗い出しを実施し、利活用に向けた当面のスケジュールを作成した。また、都市再生の観点による関係部署との庁内検討会議を実施し、跡地の利活用における方向性について検討した。											
	事業評価 審査会 評価・意見等	都市再生の重要な課題として、跡地の今後のあり方の研究を進める必要がある。						予算 執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績		
主管課評価	2	事業評価審査会評価		2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）								

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	竹久夢二顕彰事業	個別事業 掲載No	生 — 10
-----	----------	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 市では、竹久夢二の作品等を、三鷹市在住で夢二と親交のあった故高相利郎氏から寄贈され、数多く所蔵している。平成26年に生誕130年、没後80年を迎えることから、このメモリアルの年に三鷹市所蔵の直筆書簡等資料を公開し、(公財)三鷹市芸術文化振興財団と協働で、「竹久夢二展～大正浪漫の恋と文～」(仮称)を開催する。開催時期は8月30日から10月19日まで、三鷹市美術ギャラリーにて開催予定。委託料7,702,000円</p> <p>【事業量】 ・「竹久夢二展～大正浪漫の恋と文～」(仮称)の開催</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○図録作成・展示準備・広報 8月30日～10月19日 竹久夢二展											
事業の成果(目標)	<p>三鷹市所蔵の作品等を公開することで、「文化の薫り高い三鷹」をアピールする。市民に芸術・文化に触れる機会を提供する。</p> <p>・来館者数3,800人</p>												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>展示準備においては、(公財)三鷹市芸術文化振興財団との協働により、図録の作成やチケット、ポスターの作成等を行なった。また、展覧会へ向けた準備を進めるとともに、横断幕の設置(三鷹駅南口)、小田急バスの中吊り広告依頼、広報みたかやプレスリリースなど広報活動を精力的に行った。8月30日から「竹久夢二展～大正浪漫の恋と文～」を開催し、来館者からも好評を得ている。</p>											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>											
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>展示名：特別展竹久夢二生誕130年「大正ロマンの恋と文(ふみ)～高相コレクションより～」 開催日程：平成26年8月30日から10月19日まで(42日間) 開催場所：三鷹市美術ギャラリー 委託先：(公財)三鷹市芸術文化振興財団</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		○図録作成・展示準備・広報 8月30日～10月19日 竹久夢二展												
	事業の成果(実績)	<p>(公財)三鷹市芸術文化振興財団と連携し、三鷹ゆかりの文化人に関する取り組みなど文化に親しむ環境づくりを行い、「文化の薫り高い三鷹」のまちづくりを推進した。</p> <p>・来館者数:4,158人</p>												
	事業の総括(主管課)	<p>竹久夢二展について、三鷹市所蔵の直筆書簡や文などをはじめとする多くの資料を公開し、(公財)三鷹市芸術文化振興財団との協働により開催した。展示数の豊富さや、竹久夢二展として特色のある「恋文」を中心に展示企画するなど、市内だけでなく市外の方からも好評であり、当初予定していた来館者数(3,800人)を上回る4,158人の方にご来館いただいた。</p> <p>「文化の薫り高い三鷹」を市内外にアピールするとともに市民にも芸術・文化に触れる機会を提供することができた。今後も、三鷹ゆかりの文化人の顕彰事業を推進していく。</p>												
事業評価審査会評価・意見等		予算執行		25年度実績	26年度当初	26年度実績								
				予算額	100千円	7,702千円	7,702千円							
				決算額	0千円		7,123千円							
				執行率(%)	0.0%		92.5%							
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)										

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	衛生的な家屋管理等に向けた居住者への支援策等の検討	個別事業 掲載No	生 — 11
-----	---------------------------	--------------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 家屋や敷地内にごみ等をため込み、悪臭や害虫を発生させるなど、近隣住民の生活環境に大きな影響を及ぼすため社会問題となっている、いわゆる「ごみ屋敷」については、さまざまな要因が考えられる。福祉・保健・医療も包含した総合力のある体制が必要であることからプロジェクト・チームを設置し、「ごみ屋敷」を解消するための居住者への支援策等の検討を行う。</p> <p>【事業量】 ・プロジェクト・チーム設置 ・さまざまな立場から「ごみ屋敷」を解消するための支援策の検討</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	<p>プロジェクト・チームの設置</p> <p>支援策等の検討</p> <p>基本的な方針の策定 ○</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	平成26年7月に第1回プロジェクト・チームを開催し、月1回のペースで会議を開催している。三鷹市の現状、先進区市の情報収集などを行い「ごみ屋敷」解消に向けた方策(手法)について、プロジェクト・チームで三鷹市にあった方策の検討を行っている。具体的なケース事案については、「ケース診断会議」をワーキングチームに位置付け、個別具体的な対策を検討している。													
	事業評価審査会特記意見				政策会議 評価・意見等			基本的には提案通り実施する。 健康福祉部など関係部署と連携し、現行法の中で市が実施可能な取り組みを積極的に進めること。							
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする										

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト・チーム会議(会議5回、視察1回) 中間報告書作成 												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果(実績)	<ul style="list-style-type: none"> ごみ屋敷に係る現状の対応状況のとりまとめ ごみ屋敷に対応する庁内の仕組みづくりの検討 												
	事業の総括(主管課)	<p>当初プロジェクト・チーム検討会議において、ごみ屋敷の対応に係る基本的な方針の策定をめざしたが、関係部署によるきめ細やかな対応及び調査が必要であるため、基本的な方針の策定ができず、現状の対応状況のとりまとめ及び課題の洗い出しに論点を絞ることに留まった。</p> <p>課題集約の結果、ごみ屋敷解決のための庁内連絡会議の設置、ごみ屋敷解決のための具体的支援を図るワーキング・チームの設置等の提言及びごみ屋敷再発防止の支援、条例の必要性等を記載した中間報告書を作成した。</p>												
	事業評価審査会評価・意見等	健康福祉部と連携して、計画的にごみ屋敷の対応に係る基本的な方針の作成をすることが望ましい。			予算執行				25年度実績	26年度当初		26年度実績		
	主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)									